



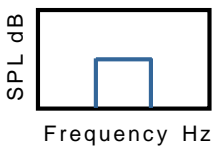
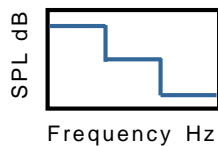

研究背景

- EV化による利点
 - …エンジンノイズの消失による車室内の静音化
 - ✕ EV化による欠点
 - …新たなノイズであるモータ音等の高周波音が不快感に影響
- 
- この不快感に対する対策が課題となる

研究目的

- マスキングに着目
- ➔ 車室内背景音でモータ音をマスキング
 - 背景音周波数特性変更
 - 複合刺激下での評価
- 
- 車室内に近い条件でマスキング閾値を測定
- ➔ EV高周波音評価における基準を明確化

研究内容

狭帯域雑音による閾値	周波数特性による閾値	複合刺激下での閾値
<p>周波数幅の小さい雑音を使用</p> <ul style="list-style-type: none"> • 臨界帯域n倍幅 • 臨界帯域以外の周波数帯 <p style="text-align: center;"></p> <p>純音のマスキングに対して影響を与える周波数帯の把握</p>	<p>周波数特性がフラットではない雑音を使用</p> <ul style="list-style-type: none"> • 低周波を強調 • 高周波を強調 <p style="text-align: center;"></p> <p>車室内のように周波数特性がフラットではない際の影響把握</p>	<p>複合刺激下での評価</p> <ul style="list-style-type: none"> • 聴覚のみの単刺激 • 視覚や運転動作を含めた複合刺激 <p style="text-align: center;"></p> <p>刺激変化による聴覚処理領域の増減がマスキングに与える影響を把握</p>